

平成19年10月吉日

「返書」に対する回答書

鯉ヶ崎の住環境を守る会

会長 上村千寿子様

株式会社 イオク

代表取締役 井奥英明



拝啓

秋冷の候、皆様ご清祥にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

平成19年10月8日付の上村様から頂戴いたしました質問書、及び平成19年10月12日付で■■■■から頂戴いたしました「返書」に回答をさせていただきます。

「イオクの方からマンション計画を説明し、それをそのままでは住民は認めないと発言すると、桑原課長は即座に話し合いを決裂させ、「計画を認めないなら、7階建てで建ててやる」

「こんな（速中）だから、だめなのは分るでしょう」と恫喝するのが、紳士的な話し合いなのですか？社長の指示なのですか？」

回答：弊社の社員が誤解を招く様な態度をしたことは深くお詫び申し上げます。

但し、本人と同席していました佐伯、内山にも確認しましたところ、皆様方が言われているような事実はなく、「お話し合いにならないならこのままの計画（6階）で進めます」と言って退席したと報告を受けております。

計画図面を役所に提出、事前協議及び開発の一部変更をした上、指導要綱に基づき建築計画のお知らせ看板を立てさせて頂こうと思っております。

「私と弊社間に誤解が生じている」とは、何のことでしょう。どういう誤解が生じていますか。

回答：弊社の計画は当初から6階の計画と説明し続けてきております。7階の計画はございません。更に計画の内容についても頂いたご意見に出来得る限り近づけるように努力し、建物の高さを以前の中央住宅様の計画より低く設定致しました。

再度申し上げますが、弊社のマンション計画について、ご説明させて頂きたいと存じますので、場所は問いません。日時をお知らせ下さい。

何卒、ご理解くださいます様お願い申し上げます。

敬具